

令和6年度 燕市立吉田中学校 学校安全総合支援事業

1 ねらい

- ・犯罪機会論について知ることを通して、景色解読力を身につけることで、危険を予測し、判断できるようにし、犯罪被害を未然に防ぐ方法を身につける。
- ・地域や商業施設などの現実の生活場面以外にも、中学生が巻き込まれやすい犯罪被害について考えることを通して、インターネット上の犯罪被害を防止するためにはどのようにすればよいか考える。

2 実践

UNIT 1 (知る) 不審者対策避難訓練 全学年対象

- 不審者対策のための避難訓練を行う。
- 避難後の全体指導で、犯罪機会論や景色解読力について知る。

※防犯アニメ「あぶないところってどんなところ？」視聴

- ・不審者は、見た目では判断できないことや、連れ去りなどの犯罪は、子ども自らの意思で行った事例が圧倒的に多いことを知る。
- ・犯罪は、動機を抱えた人が、犯罪の機会（犯罪が成功しそうな場所・状況・環境）に出会って初めて犯罪が起こるという「犯罪機会論」について知る。
- ・犯罪が起きやすい場所は、誰もが（犯人も）「入りやすく」、誰からも（犯行が）「見えにくい」場所であることを知り、心理的・物理的に「入りやすく見えにくい」場所はどこか考え、理解を深める。

UNIT 2 (共有する) 避難訓練の振り返り

- 避難訓練後の振り返りを Google フォームで実施する。
- 振り返りをテキストマイニングにまとめ、全校で共有する。

・実際の頻度ワード 一覧

にくい	やすい	見える	入る	危険な	見た目	不審者
判断	景色	ガードレール	公園	田んぼ		

UNIT 3 (深める) 第2学年保健体育 4章 傷害の防止 3 犯罪被害の防止

○ねらい

インターネット上の「入りやすく・見えにくい」ところを考える活動を通して、個人情報をお教えることやインターネットの向こうにいる知らない相手と交流する場合の危険性を理解させ、安全にインターネットを利用しようとする態度を身に付ける。

○展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応	○教師の指導・支援 ◎評価		
導入 7分	○犯罪機会論と犯罪が起きやすい場所について復習する ・入りやすく見えにくい場所がキーワード ・物理的な「入りやすく見えにくい」場所 →死角がある、視線がない ・心理的な「入りやすく見えにくい」場所 →無関心、不特定多数の人が集まる場所	○スライドを使って可視化することで、避難訓練の際の指導を想起させる。 ○危険な場所は、「景色」で判断することを確認する。		
展開 35分	○インターネット上の入りやすく見えにくいところを考える <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 入りやすい ・サイト全般 ・アプリのインストール ・SNS(X, Instagram) </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 見えにくい ・相手のこと 顔、名前、性別 年齢、気持ちなど ・真実 ・鍵アカウント上の投稿内容 </td> </tr> </table> ○インターネット上の安全なやりとりについて考える ※県SNS教育プログラム	入りやすい ・サイト全般 ・アプリのインストール ・SNS(X, Instagram)	見えにくい ・相手のこと 顔、名前、性別 年齢、気持ちなど ・真実 ・鍵アカウント上の投稿内容	○地域や商業施設以外で、防犯に注意しなければならないことは何か考えさせ、ネットやSNSに気付くよう促す。 ○インターネット上の「入りやすく見えにくい」についてグループで考え、発表させる。
	入りやすい ・サイト全般 ・アプリのインストール ・SNS(X, Instagram)	見えにくい ・相手のこと 顔、名前、性別 年齢、気持ちなど ・真実 ・鍵アカウント上の投稿内容		
課題：インターネット上で知り合った相手と交流する場合に気を付けるべきことは何か。				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ゲームサイトで知り合い、仲良くなった友だちがいます。今度実際に会って話したいという誘いがありました。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・誘われて嬉しかったと思う ・優しくしてくれたから大丈夫だと感じた ・電話番号や名前を教えてくれたから信じた ○ネット上で、知り合った人に自分の個人情報を教えるとどんな危険があるか考える ・住所を特定され、待ち伏せされる。 ・把握された個人情報もとに脅迫される	○どのような迷いが生じるか考えさせる。 ○SNSの特性(向こう側の相手が見えない)を踏まえ、信じてしまう心理を考えさせる。 ◎ネットの特性を踏まえ、個人情報漏洩の危険性を理解することができる。		
終末 8分	○本時のまとめ 危険を予測して、気を付けることを書き出す。 ・相手のことを簡単に信じない ・本名などの個人情報を教えない ・個人情報を聞かれたり、写真を送って欲しい、会いたいと言われたりしたら変(危険)だと思う。 ○本時の活動を振り返る。	○「どのような特徴があったら、怪しいと判断すればよいか」という危険を予測させ、正しい情報と判断するには、どうすればよいか(どこで「危ない」と判断するか)を考えさせる。 ◎ネットを利用する際、自分がこれから気を付けることをまとめることができる。		